

平成28年 大雨災害から10年 とかちシンポジウム

～災害の教訓を力に、持続可能な十勝の発展～

2026.10.8

木

時間 14:30-17:15

会場 帯広市民文化ホール 大ホール
(帯広市西5条南11丁目48番地2)

平成28年8月、度重なる台風により十勝管内で堤防決壊や家屋・農地の浸水、道路・橋梁の損傷など甚大な被害が発生してから10年。

復旧・復興の歩みと流域治水の取組を振り返るとともに、治水を基盤とした地域発展の方向性について議論し、将来に向けた共通認識を形成するため、「平成28年大雨災害から10年とかちシンポジウム」を開催。

参加費無料
申込不要



【主催】平成28年大雨災害から10年とかちシンポジウム実行委員会（帯広開発建設部、十勝総合振興局、管内自治体、（一社）帯広建設業協会）
お問い合わせ：帯広開発建設部治水課 TEL:0155-24-4105

14:30-15:00

開
会

- ・ 開会挨拶
 - ・ 平成 28 年大雨災害から 10 年ムービー（災害記録映像上映）
 - ・ 災害から復旧、10 年間の取り組み紹介
- 〔帯広開発建設部 / 十勝総合振興局 / （一社）帯広建設業協会〕

15:10-16:00

第
1
部

基調講演

平成 28 年北海道豪雨から 10 年 - 治水が支える十勝の未来 -

講師 泉 典洋氏 十勝川リバーカウンセラー、北海道大学大学院工学研究院 工学院院长

平成 28 年 8 月、相次ぐ台風により十勝地方は記録的な豪雨に見舞われ、河川や道路、橋梁、農地などに甚大な被害が生じた。あれから 10 年、災害から得られた教訓をもとに、復旧・復興や治水対策が進められてきた。本講演では、当時の災害とその後の取組を振り返るとともに、気候変動による水災害の激甚化が懸念されるなか、安全・安心を基盤として、農業をはじめとする地域産業が持続的に発展する十勝の未来と、それを支える治水の役割について考える。



16:10-17:15

第
2
部

パネルディスカッション

「十勝の未来に向けた安心・安全な地域づくり」

ファシリテーター 石塚 宗司氏 北海道大学大学院工学研究院 特任教授

パネリスト 手島 旭氏 芽室町長

船戸 健氏 よつ葉乳業株式会社十勝主管工場 取締役執行役員工場長

藤原 将智氏 帯広二建会 代表幹事

山田 朋人氏 北海道大学大学院工学研究院 教授

鈴木 章代氏 十勝総合振興局長

齋藤 大作氏 帯広開発建設部長

【アクセス】



【お申し込み方法】

- 一般参加の方は、お申し込み不要、参加無料です。
- CPDS、河川 CPD 受講者として参加される方は、二次元コードから以下をご記入の上、お申し込みください。

①所属(会社・団体名等) ②部署・役職 ③氏名

④電話番号 ⑤メールアドレス

⑥希望する認定制度 A:全国土木施工管理技士会連合会CPDSプログラム
B:河川技術者教育振興機構CPDプログラム

申込期限

2026.10.1(木)

参加無料、事前申込制

- お申し込みの際にご提供いただいた個人情報は、参加者の把握を目的として使用するものであり、その他の目的には使用いたしません。
- 当日の記録（写真等）は、開催実績としてホームページ等に掲載する場合がありますが、それ以外の目的には使用いたしません。

本シンポジウムは、
（一社）全国土木施工管理技士会連合会CPDS学習プログラム...2ユニット
（一財）河川技術者教育振興機構CPDプログラム...10単位の認定を受けています。

参加をご希望の方はこちらの
二次元コードからお申し込みください

